

【特別支援学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	佐賀県立金立特別支援学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の専門性の向上については、個人研究の取り組みが2年目を迎え教職員自らが主体的に研究に取り組む姿勢が身に付いてきている。</li> <li>・「志を高める教育」については、本校においては児童生徒のコミュニケーション能力を高めることでこれを達成しようとした。本校児童生徒の自立と社会参加に向けて次年度以降も引き続き取り組んでいくべき内容だと思ふ。</li> <li>・支援機器室が発足したことにより、保護者が支援機器のことについて、学校で専門性の高い職員と気軽に相談できるという環境ができた。</li> <li>・教職員の働き方改革については、定時退勤日以外にも、職員の働き方に対する意識を変えていくような取り組みを考えていかなければならない。</li> </ul>
2 学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童生徒の一人一人の状況(障害の状態や発達段階、特性)に応じた教育を実践する。</li> <li>○ 児童生徒が「明るく」「正しく」「たくましく」生きていく力を育成する。</li> </ul>
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)児童生徒一人一人の状況に応じた教育の実現を図る。</li> <li>(2)児童生徒の進路指導を充実し、卒業後の自立と社会参加を目指す。</li> <li>(3)健康・安全教育の充実を図ると共に思いやりの心を育て、豊かな人間性を育む。</li> </ul>

4 重点取組内容・成果指標				中間評価	5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価		意見や提言
●学力の向上	●児童生徒一人一人のニーズに応じた指導・支援による確かな学力の定着	○「個別の指導計画」における各教科等の指導及び評価が適切に行われたと回答する職員が75%以上	・児童生徒の実態把握を適切に行う。 ・学習内容及び目標、手立てを適切に設定する。 ・学習評価をとおして効果的な学力の向上を図る。							教務
	○教育の質の向上に向けた支援機器やICT活用教育の実施	○ICT機器を活用し、効果的な授業の促進ができたことと回答する職員が75%以上となる内容とする。	・視線入力を用いた授業実践を推進し、表出が難しい児童生徒の授業を充実させる。 ・タブレット、電子黒板等を効果的に活用する。 ・集会等で電子黒板を利用する。							学習・情報
	○将来の自立と社会参加を意識した進路指導の充実	○将来の自立と社会参加を意識した指導がなされていると回答する職員、保護者が75%以上	・効果的な研修会を行う。 ・将来の自立と社会参加が促進されるような資料を必要に応じて作成する。							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○心の教育活動や生命を尊重する教育に取り組むことができたと回答する職員が80%以上	・他者と関わる経験など多様な体験活動の充実を図る。 ・道徳教育を中心に規範意識を育む心の教育を行う。							生徒指導
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止について保護者や関係機関と連携を図り、取り組むことができたと回答する職員が80%以上	・学校生活調査を毎月行う。 ・いじめアンケートを年2回実施し、情報を共有する。 ・多様なケースに対応できるよう校内の相談体制をつくる。							生徒指導
	◎児童生徒が夢や希望を持ち、将来の自立と社会参加に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	◎学校評価アンケートにおいてコミュニケーション能力を高めることができたと回答する職員、保護者が80%以上	・授業の中に、集団活動を意識的に取り入れる。 ・交流及び共同学習に積極的に取り組む。 ・挨拶を積極的にする。 ・授業の中に、自己表現力を高める活動を取り入れる。							
●健康・体づくり	●安全に関する資質・能力の育成	●児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする。 ○児童生徒の状態に応じて、危険を回避したり援助を求めたりする力を付けさせることができたと回答する職員が75%以上 ○安全に注意している児童生徒(I II 課程)が80%以上	・ほけんだよりの発行 ・安全に関する意識調査の実施 ・環境整備 ・個別の指導や掲示物での啓蒙							保健
●地域支援	●効果的な地域支援に向けた特別支援学校のセンター的機能の充実	○巡回相談等での支援・助言により、状況が改善したと回答する職員が80%以上	・巡回相談の実施 ・教育相談や電話相談 ・公開研修会の案内、計画 ・他校務分掌部との連携、協力							相談支援
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。 ○職員の時間外自発勤務時間の一月の平均時間が20時間以内	・定時退勤日の完全実施 ・定時退勤推進日についても定時退勤を強く促す。							管理職
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○自立活動	○「自立活動」の指導の充実	○教職員への自立活動に関するアンケートを行い、指導内容策定までの流れを理解ができたことと回答する職員が70%以上	・自立活動課題整理表の改定作業を学校研究として取り組む。 ・外部講師を招聘し、自立活動に関する研修を深める。							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
--------------------	---